

大阪観光ビジネス学院自己点検

(1) 教育理念・目標

1	学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっているか。	④	3	2	1
2	内容が社会のニーズに合致したものとなっているか。	4	③	2	1

現状・課題・改善策

専門学校である本校には、国際的な視野を持ち、2年間の学習成果をしっかりと身につけた実践力をもった職業人を育てることが求められている。

そうした専門性をもった職業人としての能力のみならず、ボランティア活動やサークル活動また季節の行事などを通して協調性や社会性を身に着けた人材の育成を目指している。

今日、多方面からコミュニケーション能力を持った実践的な能力のある人材が求められており、そうした要請に応えることのできるカリキュラムの工夫が課題となっている。

(2) 学校運営

1	目的に沿った運営方針、事業計画、体制等が策定されているか。	4	③	2	1
2	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	③	2	1

現状・課題・改善策

教育目標を達成するため組織的取り組みの充実に力を入れている。企画会議でしっかりと議論を行って事業計画を策定している。その計画に基づいて、更に、具体的な実践を行うために、全体の職員会議、担任者会議で検討を加え教育活動に取り組んでいる。日々の情報は、必要に応じて専任教職員と非常勤教員に迅速に情報の配信ができるよう努めている。内容により情報システム内のフォルダーへのアクセス権を厳格に指定するなど、情報管理にも注力している。

グループごとに業務内容を整理して情報共有しつつ、業務を遂行している。学生の出欠管理については顔認証などの情報機器を使って厳格に行っている。学生の数が増加する中で、学校の指導事項を的確に周知徹底、指導するために、教職員間の情報共有の迅速化と実施の徹底が求められる。

(3) 教育活動

1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	④	3	2	1
2	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

現状・課題・改善策

教育理念の達成は教育課程の内容と実践力の如何にかかっている。教育課程編成委員会では卒業後の社会的ニーズに重きを置き策定している。教育課程は、専門の知識・技能を習得するための専門教科の教授法の工夫が求められ、また外国人留学生への実践的な日本語教育の教授法が重要となっている。各教員から提出されたシラバスについては、教務の担当教員が専門士となるための適切な内容であるかを点検・確認しシラバスに沿って授業を進めている。また、教育効果を高めるため、毎日の宿題とそのフィードバック、入学予定者に対しても春休みを含め長期休暇中に学生の学力に応じた宿題を課している。

教員の研修については、外部の専門家を招いて実践に即した内容の指導を受けている。また、授業内

容や教授法の習得を目的としてFD研修を位置づけ、一定の期間、校内の授業を教員同士が見学し合う研修の機会を設けている。

(4) 生徒指導等

1	基本的な生活習慣の確立のための取り組みが行われているか。	4	③	2	1
2	生徒の安全管理のための取組等が行われているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

本校の生徒指導は、外国人留学生が卒業後もほぼ全員が、日本に居住し日本で就職することを希望しているが、日本で就労し日本社会で生活するというイメージは乏しいことから、日本社会のルールが守れる社会人の育成が教育方針の一つとなっている。社会規範に照らして作成した学則を、学生が理解しやすい文書としてまとめた「わかりやすい日本語版」を作成しネットで読めるようにしている。また、オリエンテーションの時に更にかみ砕いて絵で表現したルールブックも作成し丁寧に指導している。学生自身が、時間を守ること、約束を守ること、学校の規則を守ることが重く受け止める意識の醸成が課題である。

本校はクラス担任制を設けており、担任による個別面談を行い学生一人ひとりの状況をできる限り把握するよう努めている。週に一回ホームルームの時間を設けており、適時基本的学習習慣に関する指導、安全・安心な毎日を送るための指導を行っている。

フットサルサークル、SNSサークルなど、自主的サークル活動として組織し教員が支援している。更に、自由参加のボランティア活動を毎月行っており、校内、校外の清掃活動に取り組んでいる。こうした、サークル活動やボランティア活動を通して協調性、社会性を養う機会ともなっている。

(5) 学習成果

1	資格取得率の向上が図られているか。	4	③	2	1
2	進路決定率の向上、退学率の低減が図られているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

2年間という短い期間で専門士としての資格を取得して就職をすることになる。卒業後安定した収入を得て、安定した生活をするために、様々な可能性について積極的に取り組むよう、指導・支援を行っている。学習の成果が卒業後の就労に繋がるよう、キャリアセンターが主導して、会社説明会を頻繁に行っている。資格取得のための講座の設置や卒業後の就職先を視野に入れた1年生対象のアルバイトの紹介などについても、キャリアセンターとクラス担任が連携して学生の希望を聞きながら、進路指導・支援を行っている。インターンシップの経験が就職に大きく影響していることから、キャリアセンターから企業に対し積極的にインターンシップの受け入れをお願いしている。インターンシップへの参加は卒業後の業務内容がイメージできて大変有効である。

出席率や授業態度などの状況により、適切にクラス担任や学生支援教員による面談を行うことで、極力退学者が出ないように、指導に努めている。

(6) 教育環境

1	学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか。	4	③	2	1
2	教材は適切か。	4	③	2	1

現状・課題・改善策

校舎の施設・設備に関しては、経年劣化もあり、時折問題も発生しているが、適切、迅速に対処するよう努めている。自転車通学の学生が多いため、駐輪場の新設、また、全国各地からの入学生のために寄宿舎も設置し施設・設備面の改善を図っている。また、教材や資料の準備については、シラバスに沿って、学校がテキストを準備し、資料は各授業担当者が適宜準備している。各教室にプロジェクターを設置しており、教員が教材を工夫して、魅力的な授業づくりが行えるよう設備の充実に努めている。また、ホテル業務、レストラン業務に関わる実習設備により、実践に即した授業実施環境の整備に努めている。

(7) 生徒・学生募集

1	入学希望者が学ぶ学校等に対する情報提供等の取り組みが行われているか。	4	③	2	1
2	生徒募集活動において、進路状況等の情報は正確に伝えられているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

本校のホームページでは、入学希望者に対する募集に関わる全ての情報、学校説明会、願書提出に関わること、入試日、授業料等の学習費用や奨学金制度、就職状況、また経営の状況など、法人全体や学校に関する様々な情報を提供している。

また、直接学校の施設・設備及び学習の実際を見てもらうことや、先輩学生との対話の機会を設けるなどの学校説明会を複数回実施している。また、入学希望者が在籍する教育機関に対して直接お伺いして、本校の説明を行う機会を設けるなど、入学希望者に対して、細かく対応することに努めている。

(8) 財務

1	中長期的に財務基盤は安定しているか。	④	3	2	1
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	④	3	2	1
3	財務について会計監査は適切に行われているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

本校は学生の安全・安心及び教育活動の継続と質の保証を第一に考えている。財務状況については、ホームページで学校情報の公開として、監査報告書とともにオープンに誰でも閲覧していただけるようにしている。

コロナ禍では募集活動も極めて厳しいものであったが、2024（令和6）年度入学生から、定員を大きく上回る応募者数があり適正な入学生者数となった。2025（令和7）年度の応募者数も順調に伸び、募集活動も安定してきている。収支の適正化については、理事会、評議員会や監事監査による点検はもちろん、日常の各種会議においても、必要な支出について自由な議論の場となっており、収支の妥当性を点検する機会となっている。

(9) 法令遵守

1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営が行われているか。	④	3	2	1
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

各種関係法令及び専修学校設置基準等の遵守については、各行政機関への報告処理を適切に行い専修

学校としての責務を果たしている。留学生の在籍管理は適切に行われており、大阪出入国管理局から適正校認定を受けている。個人情報保護については内部規程を設け全教職員に周知し、個人情報を取り扱う機関として適切な管理を行っている。

(10) 地域貢献・社会貢献・国際交流

1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	③	2	1
2	生徒・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	③	2	1
3	留学生の受入において適切な手続等がとられているか。	④	3	2	1
4	留学生の受入に対して、学内での適切な体制が整備されているか。	④	3	2	1

現状・課題・改善策

入学者数も増加し、地域との融和を重要な事柄と捉え、日常生活の指導にも心掛けている。登下校時には、教職員が指導に当たるなど交通マナーの指導を行っている。また、希望者によるボランティア組織が結成され教員が支援者として支援しており、校内清掃のみならず地域清掃も行って地域の方に感謝されている。また、コロナ禍の時は、本校がコロナワクチンの接種会場となり、地域の方からも評価を頂いた。また、大阪観光局との連携により、小中学生、高校生との交流事業に参加するなど、地域活動、国際交流に積極的に取り組んでいる。

留学生の受け入れに関しては、開校以来、大阪出入国管理局から適正校認定を受けている。文部科学省や出入国管理庁等の申請・報告等の行政手続はもちろんのこと、国民年金保険料 学生納付特例の申請など、入学から卒業まで外国人留学生の適切な受入れ及び在留管理等の学生管理体制等について滞りなく行っている。取得ビザの期限確認やビザの更新手続きなどについても、各担任が確認し、ビザ更新手続き時期の指導など遺漏の無いように指導している。

また、学生が主体的に取り組んでいるフットサルサークルや SNS サークルなどのサークル活動についても、教員が指導・支援し、必要経費を学校が支援するなど、学生の活動を支えており、こうした活動を通して、協調性や社会性を育てている。